

テーマ：2008年10-12月期GDP統計（2次速報）予測 発表日：2009年3月5日（木）
 ～ 1次速報からさらに下方修正 ～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主任エコノミスト 新家 義貴
 TEL:03-5221-4528

○ 1次速報からさらに下方修正

3月12日公表予定の2008年10-12月期実質GDP（2次速報）は前期比▲3.5%、前期比年率▲13.5%と、1次速報段階の前期比▲3.3%、前期比年率▲12.7%から下方修正されると予想する。マイナス幅は74年1-3月期の前期比年率▲13.1%を超え、過去最大となる見込みである。

設備投資は前期比▲5.5%と、1次速報段階の同▲5.3%から僅かに下方修正されるだろう。本日公表された法人企業統計の設備投資（ソフトウェア投資額除く）は前年比▲18.1%と7-9月期の同▲13.3%からマイナス幅が拡大した。QE推計に際しては、サンプル替えの影響を軽減するための断層調整や、リース取引に関する会計基準適用の影響を除去するための処理などが行われているが、そうした調整を行っても前期から悪化していることに変わりはない。その他、金融機関設備投資や12月分生産動態統計なども反映すると、設備投資は1次速報（前期比▲5.3%）と同様に大幅な減少が予想される。企業収益の大幅悪化や景況感の急激な悪化を背景として設備投資の減少ペースが加速していることが改めて確認されるだろう。

民間在庫投資は、法人企業統計の原材料在庫と仕掛品在庫がともに1次速報段階の仮置き値対比で下振れたとみられることから、対GDPの前期比寄与度が+0.2%ポイントと、1次速報の同+0.4%ポイントから下方修正される見込みである。その他の需要項目では、12月分の建設総合統計を受けて、公共投資が前期比+0.2%に上方修正（1次速報：同▲0.6%）されるほか、デフレーターの方下方修正を受けて輸入が前期比+3.1%（1次速報：同+2.9%）と若干上方修正されると予想する。

このように、08年10-12月期GDP2次速報は、大幅減少となった1次速報からさらに下方修正が予想される。10-12月期に景気が急激に悪化したことが改めて確認されるだろう。また、これまで公表されている経済指標を見る限り、09年1-3月期についても前期比年率二桁減少となる可能性は高い。GDPが2四半期連続二桁減となることで、08年度の経済成長率が大幅に低下するだけではなく、09年度にかけての発射台（成長率のゲタ）が極めて低くなる。筆者は、海外経済の底打ちや在庫調整の進展等を受けて09年7-9月期以降にはプラス成長に戻ると予想しているが、年度の成長率でみると大幅なマイナスは避けられない。

2008年10-12月期GDP2次速報予測
 （前期比、%）

	2008年10-12月期	
	1次速報	2次速報予測
実質GDP	▲ 3.3	▲ 3.5
前期比年率	▲ 12.7	▲ 13.5
内需寄与度	▲ 0.3	▲ 0.6
民間最終消費支出	▲ 0.4	▲ 0.4
民間住宅	5.7	5.7
民間企業設備	▲ 5.3	▲ 5.5
民間在庫品増加（寄与度）	0.4	0.2
政府最終消費支出	1.2	1.2
公的固定資本形成	▲ 0.6	0.2
外需寄与度	▲ 3.0	▲ 3.0
財貨・サービスの輸出	▲ 13.9	▲ 13.9
財貨・サービスの輸入	2.9	3.1
名目GDP	▲ 1.7	▲ 2.0
前期比年率	▲ 6.6	▲ 7.4
GDPデフレーター （前年比）	0.9	0.9